令和６年度「学校・家庭・地域連携協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定（実績値と達成度）

市町村名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
真室川町	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	町内の教員の33%超が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	地域学校協働コーディネーターを配置し、学校運営や教職員にも役割が浸透しつつあるが、学校ごとに役割の活用度合に差異があるため、理解度を均一にし、教職員全体の時間外平均時間を縮減している。	・各小中学校への地域学校協働コーディネーター配置を継続する。 ・校内での役割分担を精査し、校外との連絡調整業務をコーディネーターが中心的に担うことができる体制を構築する。	学校・家庭・地域の役割分担を明確化することで、地域との協働が推進され、教職員の業務負担を軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	33	%	20	13.4	3	・月45時間以上の超過勤務の基準では改善は見られたが、月30時間を超える勤務は全体の半数以上である。 ・中学校においては部活動に係る課題が解消されれば一部の教職員の軽減が図られる見込みはあるが、小中学校とも月45時間未満でも通常業務での時間外勤務は常態化されているため、引き続き常駐配置しているコーディネーターを活用した日常での業務軽減につなげたい。
真室川町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	各校の運営支援に携わっている地域ボランティアについて、高齢化や少子化に伴うPTAの減少等により確保、継続が難しくなっている。	学校運営協議会に地域の方が携わり、地域に開かれた学校づくりを行ってきた。学校行事に地域の資源を取り入れることにより、地域の方が参画しやすい体制づくりを構築している。	・現状ご協力いただいている地域ボランティアの活動継続を図りながら、次世代の人材発掘を進めていく。 ・学校ごとの名簿を共有するなど、学校区を越え、町全体の地域ボランティアとして活動できる環境を整備する。	減少しつつある地域ボランティアの人数確保と、それに伴う学校運営への支援体制を構築する。	各学校へご協力いただいた地域ボランティアの人数（累計）	804	人	1000	1176	3	・町内各地区に読み聞かせを行うサークルが存在しており、各校全てにおいて、定期的にサークルの方々による読み聞かせの授業を取り入れている。 ・地域の資源や特色を積極的に学校活動に取り入れていることにより、地域の方が学校に携わる機会が増えている。 ・さらに、地域に開かれた学校を目指し、地域の方々が活躍できる環境づくりを行っていく。
真室川町	③学校と家庭の課題	03 読書習慣の定着・読書体験の充実	デジタル環境の普及に伴い、児童生徒の読書習慣が減少している。	学校ごとに読み聞かせの時間を充実させ、読書への関心を深める活動を行っている。また、図書の紹介や配置を工夫するなど、児童生徒に図書を身近に感じられる環境づくりを行っている。	・各校に配置された地域学校協働コーディネーターを中心に、図書環境整備を充実させる。	子どもたちが読書に興味・関心を持ちやすい環境を整備することで、日常的な読書習慣を身につける。	各校図書室における児童生徒一人あたりの年間図書貸出冊数	55	冊	80	47	2	・図書の紹介や配置を工夫し、児童生徒に図書を身近に感じられる環境づくりを行っているが、中学校においては生徒の関心が減退傾向にある。 ・令和6年度に中学校へ図書管理システムが導入されたため、図書室の活用と図書に興味が持てる環境づくりを中学校においても整備することで、読書量の増加に期待したい。（小学校には導入済）

達成度（５段階の自己評価）

５…本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
４…本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
３…本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
２…本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
１…本年度の目標値を大きく下回り、取組の抜本的な見直しが求められる